

全国協議会 ニュース

発行所
特定非営利活動法人
全国骨髄バンク
推進連絡協議会
〒160-0005 東京都
新宿区愛住町23-1
Woody21-9階
TEL. (03)3356-8217
FAX. (03)3356-8637
発行責任者:品川 保弘
http://www.marrow.or.jp/
E-mail:office@marrow.or.jp

郵便振替口座
00150-4-15754
銀行口座
三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655

15周年事業「いのちの輝き展」

10月の推進月間に合わせて各地で開催

●和歌山

推進月間も半ばを過ぎた10月22日、和歌山県内で骨髄バンク推進活動に関わる「和歌山骨髄献血の和を広げる会」、行政の窓口の「和歌山県業務課」と「ひこぼえ」の三者が協力して、講演会が行われ、その会場で輝き展が開催されました。日本赤十字社和歌山医療センター第二内科部長、杉山建夫先生をお迎えして、和歌山における「骨髄移植の現状」と題して、お話をいただきました。先生は最後に「和歌山県人は和歌山で移植、採取が出来るように努めることが必要」と締めくくられました。関係三者が力を合わせて事業を行えた事は、これからの和歌山には大きな一歩となりました。講演会の後、説明員の研修会を開き「ひこぼえ」から3人が参加、これからの活躍を期待したいと思います。(北山)



何かもう一度考え、これからは骨髄バンクについて関わって行きたいと思っています。(太田・星野)

骨髄移植推進県民の集い会場、27日福井市のショッピングセンターCOPA、30日同市岡保小学校・ふるさと祭にて、それぞれ11、16、5名の方に登録していただくとともに、作品がいろいろあるの目に触れたことを喜んでいきます。昨年度より各健康福祉センター毎に目標を設け、県として主体的にドナー登録推進に取り組んで来た甲斐あって、10月の登録者は過去最高の105人、人口割の目標値1800人を11月中旬に達成する見込みです。担当の皆様、いつもありがとうございます！(池田)

●静岡

10月22、23日に静岡市ツインメッセ「静岡元気発見フェア'05」の会場で著名人からのメッセージ展を開催しました。

芸能人の写真に気づいてメッセージを読み、骨髄バンクのことに関心を持ってくれる人もいました。東さんや井原さんなど、メッセージだけでなく実際に協力してくださる姿を見ると、心強く思います。患者や団体が訴えるにはやっぱり

●愛知

11月12日に岡崎市立福岡中学校の文化祭で「MAMO」のメッセージ展を開きました。この展示会で「もつと骨髄バンクについて知りたい」という感想が多くありました。この感想をみて、骨髄バンクについて興味を持ってくれた人がいたことがうれしかったです。私たちとほぼ同じ年齢の守くんのメッセージを選び準備しているときに、一つ一つを読んでみると、闘病生活での心の叫びが伝わってきて、涙がこみ上げてきました。今回は、募金活動などはできませんでしたが、自分たちができること



●福井

10月の推進月間には、県内3会場で開催される『いのちの輝き展』が開催され、登録受付も実施されました。16日敦賀市の臓器・



15周年記念事業協賛金・協賛品・一般寄付 (10月21日~11月20日)

株式会社北越ケーブ	50,000円
株式会社エービーエス新沼株式会社	50,000円
株式会社エービーエス工業株式会社	20,000円
株式会社佐藤食品工業株式会社	20,000円
株式会社正一正蒲鉾株式会社	30,000円
新潟県医師会	10,000円
新潟県接骨師会	10,000円
新潟県山事株式会社	10,000円
新潟県山事株式会社	10,000円
小師美沙子	10,000円

(敬称略)

ブロック別ボランティアセミナー始まる

今年も各地でブロックセミナーを開催することになりました。早速、北海道ブロックで開かれましたので、その様子を報告します。

北海道協会創立15周年と小樽骨髄バンク推進会の発足を記念するボランティアセミナーが、11月19日小樽市生涯学習プラザで開かれました。

セミナーは、ボランティア会員38名、北海道庁・小樽市職員3名、一般市民参加10名で、51名の受講者となりました。



基調講演には、札幌北極病院の笠井正晴先生をお招きして、骨髄バンクと白血病治療について新しいボランティアや一般市民にも配慮してお話をいただきました。続いて、患者・患者家族・ドナー体験者と笠井先生によるシンポジウムが行われ、島山運営委員長の司会のもとに、笠井先生の医学的説明を加えながら切実な体験が語られました。ドナー募集の急迫した必要性が、改めて会員の意識に刻みこまれました。(H)

新宿アルタ前で骨髄バンクチャリティイベント

10月16日、「笑っていいとも」でおなじみの新宿アルタ前にて、東京21世紀ライオンズクラブ主催による「あれから10年 もう一度BIG WAVE」と題した骨髄バンク支援チャリティイベント、献血行ドナー登録会、募金活動が行なわれました。新都心ライオンズクラブが同じ場所でPR活動をして下さって10年。当時同様、お待ち合わせ以外には立ち止まらないう人々を立ち止まらせようと、今回は歌手の刀根麻理子さんご夫妻にもご協力頂き、着ぐるみ隊、手品、紙切り、ライブ、なごら健彦さんのトーク等々多彩な催しが行なわれました。会場周辺でのLCの皆さん、初参加の学生を含めた約20名のボランティアの熱心な呼びかけもあり、90名の方に登録頂きました。ちなみに献血は42名、献血よりドナー登録が上回った驚くべき数字でした。(大谷)



三菱ウェルファーマ株式会社
http://www.m-pharma.co.jp

創薬力

今年も箱根駅伝でがんばります!

お正月の2日、3日、第82回箱根駅伝において、主催者である関東学生陸上競技連盟の協力を得て、骨髄バンク普及啓発活動を行います。4年4回目を迎え、すっかり定着しつつある骨髄バンクPRですが、お正月という事もあり、人手不足が悩みの種です。箱根駅伝の沿道近くにお住いの方が、一度は目前で選手の力走をご覧になりたい方がいらっしゃいましたら、是非、ご協力のほどお願いいたします。詳細については協議会事務局までお問い合わせください。(大橋)

2006年版「ハローキティ・シールカレンダー」・「あやちゃんの贈り物カレンダー」ができました。

毎年好評を得ています「ハローキティシールカレンダー」ですが、今年も一段と可愛いく出来ました。例年どおり、裏面は骨髄バンクのPRが書かれています。また1年が一目で分かると評判の「あやちゃんの贈り物カレンダー」は掲示しやすいB3サイズに変更しました。お友達にも紹介して骨髄バンクの応援をして下さい。

【問い合わせ】

地元の骨髄バンク支援団体・または「特定非営利活動法人全国骨髄バンク推進連絡協議会」へ
〒160-0005 東京都新宿区愛住町23-1
Woody21 9階
TEL03-3356-8217
FAX03-3356-8637
e-mail:office@marrow.or.jp

※カレンダーと一緒に振込用紙を送ります。(料金後払い)在庫なくなり次第終了。ご注文はお早め!



第56回 理事会報告

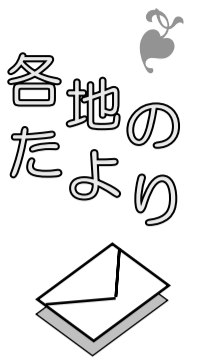
11月20日
全国協議会事務局

- 〈10月会計報告〉
- 〈協議事項〉
- 名義後援、承認案件
- 会員制度見直しについて
- 財団新聞報道に関する対応について
- 財団国際会計に関する対応について
- 第3回合同公開フォーラムの開催について
- 情報誌第9号の発行について
- ドナー登録推進に向けて
- 登録会における役割分担について
- ドナー取材について
- 東京21世紀LC普及啓発活動
- NMDP年次総会参加報告
- WEBサイト更新について
- 財団関連報告
- 15周年記念事業進捗状況
- 年賀ハガキ事業の進め方
- 専従事務局員下期賞与支給について
- 保険適用運動の進め方
- 2006年全国大会について
- グッズ作成について
- 30万人達成にむけて
- 専従事務局員下期賞与支給について

2005年大阪発 さい帯血バンク推進全国大会開かれる

11月19日大阪府立成人病センターで「2005年大阪発さい帯血バンク推進全国大会」が開催されました。この全国大会は年次報告を兼ねて開催されたもので、東京以外では初の開催となります。来賓として挨拶した全国協議会の陽田副会長は、造血細胞移植治療の経済効果を例にあげ、さい帯血バンクの経営的自立が重要であり、その仕組みづくりが急務であると訴えました。

事業報告では野村事業運営委員長が「わが国におけるさい帯血移植と今後の展望」と題して現在、日本さい帯血バンクネットワークで実施に向けて準備中の施策を中心に12のトピックスとして紹介しました。次に甲斐俊郎事業運営委員長が「わが国におけるさい帯血移植の成績」と題して1997年から2005年までの症例1860例の解析結果について報告しました。その後、京阪さい帯血バンク、兵庫さい帯血バンク、東海さい帯血バンクの3バンクからそれぞれの事業の取り組みについて発表されました。



各地のたよりを
写真を添えて
お寄せください。

千葉 東京モーターショーで 852名が登録!

今年も10月21日〜11月6日の17日間、幕張メッセで開催された東京モーターショーで日本自動車工業会の全面協力を得て、献血併行登録会を行いました。852名の方に登録を頂きました。(入場者数151万人)

今年で3回目の登録会となりましたが、今年も井原効果、登録年齢幅拡大効果、ボランティアの皆さんの呼び掛けやチラシ配りの効果、そして何よりも日赤さんの献血受付時の「ドナー登録をやっています」の声掛け協力の効果が大き、852名に繋がりました。献血者



福島 病院訪問コンサート

は、逆に我々ボランティアが献血中心の呼びかけをした成果もあり2、836名でした。今回は実に献血者の30%に当たる方々が登録したことになります。(梅田)

サンクト・フローリアンの小澤洋介氏、三戸素子氏による病院訪問コンサートが、10月18、19日行われました。会津若松市の竹田総合病院にあるベッドスクールと、県立会津総合病院、そして翌日は北福島医療センターの、3カ所を回って頂きました。

に聴きに来た子、気管チューブの吸引をするために一時退席した後、また戻ってきた子、車椅子の子……、病院コンサートならではの光景でした。

ヤングさん(ピアノ)のトリオはますます円熟した響きを聴かせて下さり、演奏が終わったとたんブラボの音が掛かりました。

通常のコンサートと違ってリラックスした雰囲気、曲にまつわる話をしながら、聴衆の年齢層に合わせて曲目を入れ替えたり、日本のポピュラーな曲も取り入れて、聴衆と一体化した暖かいコンサートになりました。帰る際、"また来てな"と声がかかりました。

ミニシンポジウムは村上順子さんの司会で、18歳になって母の日プレゼントにドナー登録をされた徳田大輝君と母さん、さい帯血移植を受けて元気に小学校に通う

東京 14回目のコンサート

慢性骨髄性白血病で倒れた樂友を励まし、支援するために始まったサンクトフローリアンピアノ三重奏団のチャリティコンサートも今年で14回目を迎えました。

今回も新宿モノリスでの昼休みコンサート、文京シビックホールでの本コンサートとダブルヘッドで演奏していただきました。

二組のペアが感動の対面 〜NMDP年次総会〜

毎年この時期、アメリカのミネアポリスで開催されている全米骨髄バンク(NMDP)の年次総会に参加しました。

毎年楽しみにしている患者とドナーの対面。今年は、二組のペアが登場し、鳥肌が立つような感動の場面をダブルに味わうことができました。

日本人女性も登壇して、感激の抱擁。9歳の女の子が感極まって泣き出し、母親とドナーさんにかかり抱え込まれていました。

香寺ハーブガーデン (兵庫県姫路市)

香寺ハーブガーデンさんは、当センターが毎年12月23日に行なっております骨髄バンクチャリティークリスマスコンサートのパフレットにご協力いただいております。

ごんにちは募金箱

香寺ハーブガーデンさんでは、自然の恵みに感謝し、土のぬくもりを感じながら一つ一つ大切に手作り商品を作っております。



今月号より全国を講演で走り回る大谷会長の様子をお知らせします。

名川晃太くんのお母さんが舞台上に立つて、ドナー登録の訴えをしてくださいました。

された「24時間テレビ」の映像が流れました。みんな映像に見入っていました。

ボランティアの仲間たち 〜維持健人さん(佐賀)の巻〜

支部1988年設立以来、年間約100日の活動をよくも続けています。

10月9日、佐賀大学で学生10名とちらし配布・登録8名の活動をした。

痛な経験と広きにわたった移植希望者救済の思いに答えてあげたくて、出来るまで活動を継続する。



共に活動する仲間たち

心からのご寄付に 感謝申し上げます

10月22日〜11月20日

㈱ダグドコーポレーション	現金	30,000円
㈱川越青年会議所	現金	20,000円
大木由紀子	現金	36,000円
塩森芳枝	現金	6,115円
東京都立保健科学大学保健科学イベント部門	現金	20,000円
㈱サクラホーム	現金	5,000円
匿名	現金	4,310円
匿名	現金	7,055円
切明 蹊	現金	5,000円
鈴木純子	現金	1,340円
徳田ひろみ	現金	1,620円
栃木県立大田原高等学校	現金	30,000円
社会福祉法人「春風会」	現金	100,000円
吉本哲也	現金	1,000円
愛知県岡崎市立東海中学校	現金	8,100円
水野徳彦	現金	2,000円
加須市立PTA連合会・加須市教育研究会	現金	25,000円
岡崎市立岩津中学校	現金	13,500円
岡崎市立岩津中学校生徒会	現金	10,450円
東京都立板橋看護専門学校	現金	53,000円
岸田博之	現金	359円
黒田多喜男	現金	10,000円
佐藤栄治	現金	3,750円
劇団海鳴り湧別公演スタッフ	現金	1,000円
寺下智子	現金	640円
美濃加茂あじさいライオンズクラブ	現金	300,000円
須藤勝巳	現金	7,424円
サイトーヒスチオ	現金	1,000円
鷺宮ライオンズクラブ	現金	10,000円
久喜市立南中学校PTA	現金	10,000円
三瓶和義	現金	2,120円
国際ソロプチミスト尾道	現金	100,000円
明治学院東村山高等学校	現金	30,000円
北浦・君和田・保利・春上・井上・佐藤・鴨下・山本・松沢・青木・山田・庄司・正岡・船木・今	現金	5,548円
●佐藤さち子患者支援基金	現金	5,000円
岩佐みね	現金	2,000円
安田玉江	現金	5,000円
切明 蹊	現金	1,000円
高橋	現金	1,000円
いわき骨髄バンクを支援する会	現金	300,000円
星万里子	現金	1,000円
●白血病患者支援基金・募金箱	現金	3,102円
ドラッグストア モリ	現金	5,533円
福寿荘	現金	4,900円
カフェダガロのお客様	現金	5,256円
ファミリーマート池の上駅北口店	現金	1,000円
㈱スバゴ	現金	11,864円
マックスバリュ宮店	現金	16,148円
堤建装	現金	(敬称略)

活動資金の援助をお願いします
銀行口座
三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655
郵便振替口座
00150-4-15754
特定非営利活動法人
全国骨髄バンク推進連絡協議会



(濱田)

骨髄バンクの最新情報をお知らせする 骨髄バンクNOW

●10月の月間ドナー登録者数が初の6,000人台
10月の月間ドナー登録者数が、「過去最多」だった9月をさらに上回る6,873人となりました。特徴的なのは、集団登録での登録者数が日赤の固定窓口での登録者数を上回ったことです。日赤の協力による登録会が数多く開催されたと考えられます。

●移植例数も「過去最多」の月間98例。年内に累計7,000例突破か
10月の非血縁者間骨髄移植例数が98例となり、過去最多を記録しました。年内に累計7,000例の台に達する勢いで、今年度の年間例数は900台になりそうです。

●日本骨髄バンクの現状(2005年10月末現在)

	9月	10月	現在数	累計数
ドナー登録者数	4,378	6,873	224,446	286,225
患者登録者数	169	230	3,097	19,360
骨髄移植例数	76	98	-	6,883
20歳未満ドナー	246	407	1,069	-
51歳以上ドナー	191*	321**	954	-

注) 数値は速報値のため次月以降に訂正されることがあります。
*51歳以上ドナーの延長数 **51歳以上ドナーの新規登録数